

## 「エネルギーグループ知的財産報告書（2025年）」の概要

### 1. 知財活動の目指す姿（4頁）

- 知財戦略基本方針と事業戦略との関係を図示

### 2. 新たな価値創造に向けた知財活動（5～6頁）

- 価値創造ストーリー策定に向けた取り組み状況（コア価値創造ワーキンググループの活動）
- IPランドスケープの取り組みと活用事例

### 3. 研究・開発と知財ポートフォリオの再構築（7～15頁）

- 研究・開発事例とグループ一体となった研究・開発活動
- GX・DX、新事業・新サービスを中心とした知財ポートフォリオの再構築

#### <特集> エネルギーマネジメントシステムを活用した

##### 「お客さま・地域の脱炭素化」への貢献に向けた取り組み

「中国電力カーボンニュートラル戦略基本方針」の「お客さま・地域の脱炭素化」の重要施策の一つである「エネルギーマネジメントシステムを活用したサービスの開発・展開」の概要と目指す姿、これまでに開発してきた3つの要素技術、現在の取り組みについて解説

### 4. 研究・開発と知財活動の推進体制（16頁）

- 事業戦略、研究・開発戦略、および知財戦略を三位一体で推進するための体制、各組織の役割

### 5. 電気事業を支える基盤技術と特許の関わり（17～19頁）

- 電気事業を支える基盤技術を特許で担保することの意義
- 特許の価値の定量的評価

### 6. 商標への取り組み（20頁）

- お客さまに安心して当社グループの商品やサービスをお選びいただくための取り組み

### 7. 知財人材の育成と知財リスクへの対応（21～22頁）

- 階層別・目的別研修や知財担当者の育成の取り組みとその成果
- 日常業務や研究・開発における知財リスクへの対応

### 8. 社会貢献への取り組み（23頁）

- 施設見学等の地域の人材育成への協力、石炭灰を有効利用した土木材料による環境改善の取り組み、環境関連技術のグローバルな普及促進のためのデータベースに登録した技術

### 【活動報告】「Energia IP<sup>※</sup> Activity 2024」（24頁）

特許出願・登録件数移など、知財活動を通じて創出された知的財産の実績に関する定量的なデータ

※ IP：Intellectual Property（＝知的財産）

## 当社保有特許の価値の定量的評価

### ○ 電気事業における特許の価値の定量的評価（19 頁）

様々な創意工夫や研究・開発に取り組んだ成果は、主にコスト低減等の経営効率化という形で効果を発揮します。そのため、特許技術が関係している主な効率化施策の累計コスト低減額を算定し、それを基に、特許の価値の定量的評価額を算出しています。

#### 特許出願の効果：特許の価値の定量的評価

評価年数	①施策件数	②特許技術が関係したコスト低減額	③特許の価値の定量的評価額
2023 年度（Ⅰ）	169 件	385 億円	154 億円
2022 年度（Ⅱ）	219 件	426 億円	183 億円
（Ⅰ－Ⅱ）	▲50 件	▲41 億円	▲29 億円
権利消滅	▲55 件	▲75 億円	▲45 億円
増分	5 件	34 億円	16 億円

#### ● 上表の「③特許の価値の定量的評価額」

「②特許技術が関係したコスト低減額」に特許の寄与度と独占排他性を加味して算定しています。これは、新技術が特許で担保されていることにより当社のみがメリットを享受できている金額効果であり、2023 年度は 154 億円となっています。